

令和2年度第3回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和2年12月8日（火）午後6時30分～午後7時15分

会場：すみだリバーサイドホール イベントホール

次 第

1 開会

2 議題

- (1) コロナ禍による子育て世帯への影響等調査について

3 その他

- (1) 今後の墨田区子ども・子育て会議のあり方（オンラインによる出席）について

4 次回開催予定

5 閉会

配布資料

資料 1－1

コロナ禍による子育て世帯への影響調査の概要

資料 1－2

「コロナ禍による子育て世帯への影響調査」調査票（素案）

資料 2

今後の墨田区子ども・子育て会議のあり方（オンラインによる出席）について（案）

出席者(敬称略)

○委員

西村 孝幸（小梅保育園長）
西島 由美（にしじま小児科院長）
野原 健治（社会福祉法人興望館理事長）
松山 洋平（和泉短期大学准教授）
浅見 佳子（相模女子大学専任講師）
服部 榮（社会福祉法人雲柱社理事長）
押田 剛（主任児童委員）
会田 尚之（第一寺島小学校PTA会長）
鈴木 真由美（青少年委員協議会委員）
甚野 永子（墨中地区青少年育成委員会委員長）
酒井 萌佳（マミーズエンジェル墨田みなみ保育園施設長）
賀川 祐二（NPO法人 病児保育を作る会代表理事）
宮村 柚衣（ちゃのま保育園代表）
長 加誉（区民公募委員）
横井 貴広（区民公募委員）
宮田 宏子（立花幼稚園長）
柿沼 広美（菊川小学校長）
渋谷 俊昌（両国中学校長）
山中 育恵（文花保育園長）

<欠席委員>

岡田 真（江東学園幼稚園長）
星野 操（文花子育てひろば施設長）
小川 政美（吾嬬立花中学校PTA会長）
田中 千春（区民公募委員）
山岸 優子（区民公募委員）
米谷 亮比古（区民公募委員）

<傍聴者>

1名

○事務局出席者

酒井 敏春（子ども・子育て支援部長）、青木 剛（教育委員会事務局次長）、田村 俊彦（子育て支援課長）、高橋 義之（子育て政策課長）、高橋 淳一（子ども施設課長）、梅原 和恵（子育て支援総合センター館長）

開会

2 議題(1)コロナ禍による子育て世帯への影響等調査について

会長	次第「2 議題」の「コロナ禍による子育て世帯への影響等調査について」、事務局よりご説明をお願いします。
事務局	それでは、「コロナ禍による子育て世帯への影響等調査について」ご説明いたします。このたびの新型コロナウイルス感染症のまん延により、子育て世帯にも様々な影響が及んでいることと思います。区では、その影響を調査し、現在のニーズを改めて把握する必要があると判断し、本調査を行うこととしました。調査を進めていくにあたり、子ども・子育て会議に諮り、ご意見を頂戴したいと思います。 では、お手元の資料1-1「コロナ禍による子育て世帯への影響調査の概要」をご覧ください。調査の概要についてご説明いたします。まず、「1 目的」ですが、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、テレワークや時差出勤の実施等による働き方の変化や保護者の子育てに対する不安や悩み、ストレスの増大により、子育て家庭に対して様々な影響が生じていると報道や関係機関の調査で報告されています。そのような状況の中、本区における子育て家庭の教育・保育に関するニーズがどのように変化しているのか実態を把握し、今後の子育て支援施策の参考とします。次に「2 調査票」についてです。調査票素案は、お手元の資料1-2のとおりです。現時点の設問数は42問あります。次に「3 調査対象」についてですが、教育・保育が必要な就学前の子どもを持つ区内在住の保護者を対象に行います。次に「4 調査方法」については、インターネット上の区のアンケートフォームにて実施いたします。最後に「5 調査実施時期」については、令和3年3月の実施を予定しています。今後の流れとしましては、本日の会議で皆様からご意見を頂戴し、それを調査票に反映させまして、次回の子ども・子育て会議にて再度ご確認をいただきたいと思います。次回会議で必要に応じて補正を行い、その後、調査を実施したいと考えています。 本調査の概要は以上となります。皆様から調査票について忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
会長	ただいまご説明がありました調査について、現時点で、皆様からご意見・ご質問ありますか。事務局からも説明がありましたとおり、このアンケートを実施する予定の令和3年3月までにもう一度会議の開催がありますので、今回は、現時点でのご意見をいただければと思います。
委員	設問35「新型コロナウイルス感染症のまん延後、保育施設等の休園や外出自粛になったことで子どもの心身に悪い影響がありましたか。」について、「悪い影響」とありますが、この状況を肯定的にとらえている人もいらっしゃると思います。そのため、悪い影響だけでなく、良い影響があったかも確認するべきではないでしょうか。良い意見があったなら、その部分を区が後押しすることで、より健全な子どもの成長に繋がっていくと思います。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり、ネガティブな聞き方ではなくポジティブな聞き方という点で、工夫を凝らしていきたいと思います。
委員	対象者はどのように選ぶのでしょうか。
事務局	そこが非常にネックだと思っています。今回はインターネット上のアンケートフォーマットを活用するため、正直どなたでも回答できてしまいます。場合によっては墨田区以外の方も

	回答できてしまうことが大いに懸念されるところではあります。ただ、これまで通り無作為抽出で郵送という手法をとると、時間と経費が掛かってしまうので、今回は試行的な部分も含めて、インターネットを活用した調査を実施させていただき、もし今後同様の調査を継続して行っていく場合については、今回の改善点をふまえて、次回以降新たな視点で行っていただければと思っています。
委員	質問内容を見ると、就労に関する質問が多いように感じます。保育園等に通っているお子さんを持つ保護者への質問ばかりでなく、お子さんの属性として、何人兄弟で、何人目の子どもかですとか、子育てを助けてくれる人がいるか、祖父祖母が近くに住んでいるのか等といった、保育園に通っていないお子さんに対する視点もあるといいのではと思います。
事務局	非常に的を射たご意見かと思います。まさに今おっしゃって頂いたような、こういった設問をこういった切り口で聞いたほうがいいのかというご意見を聞けるのが本日の狙いのひとつであります。こういった聞き方のほうがより信憑性の高い結果が得られるのではないかと、そのようなご意見をいただければと思います。
会長	その他ご意見ありますでしょうか。
委員	いくつかあります。まず、目的がニーズ調査との関係ということであるので、素案の中で、ニーズ調査と同じ設問としてとりたいもの、そうじゃないもの、コロナの影響という点がどれなのかということを中心に教えていただきたいです。また、インターネットでやるにしても42問は多いと思うので、設問数を絞る必要があると思います。ニーズ調査と重複して聞きたい内容について、精査が必要になるかと思います。さらに、対象者が「教育・保育を必要とする就学前の子どもを持つ保護者」とありますが、一般的な保護者の感覚ですと、誰のことをいっているかが分かりにくいので、もう少しわかりやすい工夫が必要かと思います。あと、教育という言葉も答えやすい言葉に置き換えた方がいいと思いました。具体的には、設問11「この1年間、就学前のお子さんが病気やケガで、教育・保育事業等を利用できなかったことがありましたか。そのときの対処法などをお答えください。（半日程度も1日とします。）」とありますが、答えづらいかなと思いました。ただ、ニーズ調査実施時にこのような聞き方をしていたのであれば、仕方ないとは思いますが。
事務局	ありがとうございます。前回のニーズ調査との比較という点で、前回行ったニーズ調査と同様の設問を多数設けています。具体的には設問30前後までが前回のニーズ調査と同じような、量の見込みを探るような設問を載せています。それ以降が新たなコロナ禍における状況をお聞きしたい設問という風に分けております。このあたりのバランスについても、もう少し比重を変えたほうがいいのかというご意見があれば教えていただきたいです。また、設問の数についても、42問というのはあくまでも案でございますので少なくしたほうが答えやすいとのことであればスリム化するように努めていきたいと思っていますし、答える側として、だいたい何問くらいが子育て中のお父さんお母さんにとって負担がないとか、その辺についてもご教示をいただければと思います。それによって、設問の数を設定したいと思っています。対象者の具体化という部分についても、おっしゃるとおり、わかりやすい表現の工夫をしたいと思っていますし、皆様方からもこういった表記の仕方が的確だという助言もお示しいただけたらと思います。参考にしたいです。
委員	そうしますと、保育園等に通園している子なのか、通園していない子なのかというところが大きく分かれるところじゃないかなという感じがします。子育て支援事業について聞くの

	は、今回知りたいところとはあまり相関がないかと思います。それよりも、例えばテレワークという言葉だけでも、自宅で行う等、いろいろなテレワークが実際起っていると思いますし、そこで困っていることとか、逆に良かった点もあるのではないかと思います。就学前に限ったほうがコロナの影響が見えるというのはどうなのかなという感想です。
事務局	対象の設定の部分で、保育園等に通園している子なのか、していない子なのかというところでは、どちらかというに通園している子を想定しているところですが、こちらも皆様からもう少し幅広の対象にしたほうがいいということであれば、柔軟に対応することも考えておりますので、そこについても皆様からご意見いただければと思っております。繰り返しになりますが、今日は素案の素案という段階でのお示しになりますので、そういった部分も含めて、ご意見いただければと思っております。
会長	そのほかご意見ありますか。
委員	保育園等に通園している子と、していない子の親御さんの状況がだいぶ違うということはお分かりいただいていると思いますが、初産で、まだ保育園等の施設とつながっていないお母さんが恐らく今一番困っているのではないかと考えています。実際今の状況ですと、妊婦健診にも付き添いができませんし、立ち合い出産もできませんし、出産後もだれもお見舞いに行くことができない中で、ひとりで入院期間を過ごして帰ってきて、お子さんとの外遊びも当然控えるでしょうし、感染をナーバスに気にされる産後間もないお母さんも多いと思います。そういう方の困り感と、保育園等の施設と既につながっていて、園にいけなくても、何かしら人とつながっている実感を持ちながら子育てできている人とは全然違うと思います。そういう、まだ保育園等の施設と繋がっていない、お子さんを生んだばかりのお母さんの困りごとを吸い取れたらと思います。また、調査の周知ですが、産婦人科や小児科、保健センターに二次元コードを貼ってもらってアンケートやっていますとすれば、0歳児のお母さんも見てくれるのではないかなと思いました。
事務局	対象者の設定の部分のお話かと思いますが。我々も非常に悩んだところではありますが、対象者を幅広くとり、より多く方のご意見をいただくというところに重きを置くか、あるいはなるべくこのコロナ禍において、早期にアンケートを実施して、その結果を早期にまとめるという部分をとるか、そういったところのバランスもあるのではないかと考えております。ただ、皆様のおっしゃるとおり、同じような調査をせっかくするのであれば、対象者をもう少し幅広くとるのもひとつ意義があると思うので、そういった視点でも改めて組み直しをしていこうと思います。
委員	あくまで予想でしかないとは思いますが、より困っている方々に支援を届けるという視点で、アンケートの回答を重視できるような方法で考えられたら良いと思います。
委員	子育て支援と保育園をつくるのがイコールではないと思いますが、どうしても保育園に入れることが大変かと思うので、対象者を分けて2つ実施したらどうでしょうか。保育園に通園する年齢部分とそれ以前のマタニティ部分、別々の調査を実施する、または入り口を分けるという手もあると思います。それと、設問が詳し過ぎると面倒くさいので、本当に聞きたいことだけを答えられるような調査にしたらいいのではないのでしょうか。
事務局	ありがとうございます。今回の調査についても、これまで行ってきたニーズ調査や、子ども・子育て支援総合計画の策定の時と同様に、皆様方と意見を出し合って、一緒に汗をかきながら行っていきたいと思っています。そういった意味では、調査を分けて行ったらどうかとい

	う今のご意見、これは非常に賛成する部分でございます。私からの逆提案になりますが、この後の議題でも挙げさせていただいたとおり、オンラインでの会議も今後進めていきたいと思っていますので、子ども・子育て会議の中のワーキングの中でグループ分けをして、それぞれのチームで対象者を分けた調査の設定等をしていただいて、複数の設問を設けるといった形での実施もできるかなと思っています。
委員	調査を保育園等に通園している子と、していない子に分けてやることは大変いいと思います。区としての1番の目的、ここだけはどうにか抑えたいから調査したいという点を共有しておいたほうがいい気がして、それを教えていただければと思います。
事務局	今後区として予算をかけて子育て支援施策を行っていく上で、どういった情報・データをもとに行っていくのかということが求められていると思っていますので、その検討材料とさせて頂きたいというのが今回の調査の大きな目的です。皆様方からも年度当初に、コロナ禍における地域の皆様の状況のアンケートを取らせていただきましたが、それもひとつの検討材料としていっているところです。報道や各関係機関などの調査の結果を参考としても、それが果たして墨田区の状況にマッチしているかは推測に過ぎない部分も大いにあるので、墨田区の状況に応じた、コロナ禍における子育て支援施策を行ってきたいということが大前提としてあります。
委員	そうするとやっぱりニーズ調査との比較ということは、あまり気にせず、今ここにいらっしゃる皆様の肌感覚で、このデータをしっかり取っておかないと次の施策に繋がらないというものから、調査を作っていくというイメージでいいということでしょうか。
事務局	基本的にはそういったお考えでよろしいかと思います。その一方で、昨年度策定いただいた子ども・子育て支援総合計画の中でも、今後の保育施設の量の見込みと確保策ということを設定させて頂きましたが、その時はコロナがまん延する前で行ったので、このコロナ禍で、保育需要がどれくらい変化したのか、それに応じて今後区として、保育設備をどれくらい充実させていく必要があるのかということを検討していく上で、前回のニーズ調査から変化した部分についても、できれば把握したいなと思っています。
会長	ありがとうございます。他にありますか。
委員	アンケートというのは、ただ単に暇潰しでは実施いただけないと思うので、何のためにやるのかを明確にすることが大切だと思います。だから、入り口を分ける、対象者は誰なのか、何のためにこのアンケートをやるのか、まずそこが一番大事だと思います。あとは、事務局がおっしゃったように、ワーキンググループ等を実施し、本会議の委員内で煮詰めていくことはとてもいいと思いますが、調査実施時期が令和3年3月予定とのことなので、悠長にやっている時間はないのかなと思います。令和3年3月予定なのは、意図して今年度中にやるというお考えなのか、それとも、より良いアンケートを作るということを前提に、令和3年4月以降の実施でも可能なのかということをお伺いしたいです。
事務局	令和3年3月頃の実施というのはあくまで予定でありまして、3月頃に実施をしてその後調査結果をまとめていくとなりますと、区の行政の内部事情で申し訳ございませんが、このようなスケジュール感覚で行けば、令和4年度の予算に反映させることもできるのかなという目論見もひとつありました。ただ、委員がおっしゃったように、時間的にタイトだということであれば、場合によっては3月の実施を少し後ろ倒しにして、より皆さんで中身を精査して頂き、調査を新年度に入ってから実施するというのも大いにあるのかなと思っています。

	す。そこは柔軟に対応していきたいと思っています。
委員	アンケートって、その先が大事だと思います。調査したものをどう活かして、どう解体するのか。それが見えてこないと思います。また、小学生については、同様の調査は行わないのでしょうか。その点はどうお考えでしょうか。
事務局	アンケート集計後は、当然調査内容の分析をしていきたいと思っています。そこから読み取れる部分について皆さんに共有し、区の子育て支援の対策に活かしていきたいと思っています。小学生にも同様の調査をしないのかというところですが、今回は未就学児を対象を絞らせていただきましたが、場合によっては次のステップとして、教育委員会事務局と協力をした上で小学生への調査もあり得る話かと思っています。中長期的にみて、小学生へも対象を広げるというのは可能性としては十分あるかなと思っています。
委員	実際、自分が答える立場になったことを想像したときに、今のタイトルだと設問5のあたりから、コロナとあまり関係ないことを聞かれているなという印象を持つと思います。これからブラッシュアップしていくところだと思いますが、問5あたりから、コロナの話が出てもいいのかなと思います。今回の調査で問5から問30のことも聞きたいのであれば、タイトルを変えるなど工夫や対応が必要かと思っています。
事務局	おっしゃるとおり、タイトルについても工夫が必要かと思っていますし、同様に設問の並び順についても工夫が必要かと思っています。より答える側の立場に立って、その辺はいろいろな角度から検証していく必要があるかなと思いますので、それは今後、煮詰めていく中で皆様の知恵もいただきながら、考えていきたいと思っています。
会長	ありがとうございます。他にありますか。 とりあえず今日のところはここまででよろしいでしょうか。今いくつか、お話を頂きました。そもそもの目的や、区の行政施策に反映していくための目的としての明確化はどのようなのだろうかという意見ですとか、そのためには対象者についてある程度わかりやすくしたほうがいいという意見も頂きました。また、回答する側が回答しやすく、回答している実感があるというようなアンケートになっていくことが必要なかなと感じました。今回は紙ベースでなくインターネットで調査が行われるということで、紙でないインターネットの特性を活かしたアンケートということで考えていければいいのかなと思います。また、紙で送られてきたものに答えるのと違って、回答者は自分で進んで回答していくわけですから、それなりの周知の方法も必要なかなと感じました。いずれにしても、正直このアンケートを見た瞬間、固いなという印象を受けました。お母さんお父さん方に回答いただくということなので、相手の視点に立ったアンケートというものでブラッシュアップして頂きたいと思います。今後、次の会議まで時間もありますので、お持ち帰りいただき後ほど気づいた点等あれば、メール等で事務局にご連絡いただき、皆様のご意見をいただきながら、進めていっていただければと思います。 とりあえずは、こちらを一番の叩き台とし、アンケートも現時点では令和3年3月に行うという予定で進めていただき、皆様方の意見をまた参考にして、もう一度ブラッシュアップしたものを事務局からご提案いただきたいと思います。そういった形でよろしいでしょうか。 では、このような形で進めていきたいと思っています。ご了承くださいましてありがとうございます。

3 その他 (1)今後の墨田区子ども・子育て会議のあり方(オンラインによる出席)について

会長	では、次に次第「3 その他」の「今後の墨田区子ども・子育て会議のあり方(オンラインによる出席)について」についてです。事務局よりご説明をお願いします。
事務局	それでは、「今後の墨田区子ども・子育て会議のあり方(オンラインによる出席)について」ご説明いたします。お手元の資料2「今後の墨田区子ども・子育て会議のあり方(オンラインによる出席)について(案)」をご覧ください。まず、「1 趣旨」ですが、新型コロナウイルス感染症が再拡大している現状に鑑み、感染防止の徹底を図るため、墨田区子ども・子育て会議について、オンラインによる出席も可能とすることをご提案いたします。次に「2 オンラインによる出席方法」については、事務局の担当職員からご説明いたします。
事務局	(資料に基づいて説明) ～～オンライン会議の実演～～ このような形で、オンラインによりご出席いただくことも可能です。私からの説明は以上でございます。
会長	ありがとうございました。いまのオンライン出席についてですが、何かご意見ありますでしょうか。あくまでも、この会議をオンラインに変更しますということではなく、オンラインで出席することも可能ですよということです。対面型の会議も開催されている中で、こちらにお越しいただけない方についてはオンラインでの参加も可能ですよというご提案かと思います。ご意見・ご質問ありますでしょうか。
委員	オンライン会議のハイブリットは難しいですね。全員オンラインか全員集まるかっていうのが一番簡単なので、オンラインだったら全員オンラインにするとやりやすいと思いますけどね、半々だとなかなか大変だとは思いますが。
会長	ご指摘をありがとうございます。こういった状況の中での工夫という点での取組なので、やってみながら、今のご意見も参考にしながら、必要に応じて進めていただく形になるうかと思います。まずこの会議体で、オンラインによる出席が、出席として可能だということで、ご決定をいただければと思いますし、またオンラインを希望される方についてこのような形で大丈夫ですよという形で進めたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。では、次回の会議からになるかと思いますが、いくつか課題はあるという前提で、一歩前に進むということで、オンライン出席というものも可能にさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 本日の議題は以上になりますがそのほかにご意見などありますでしょうか。
事務局	追加で私からお知らせがあります。前回の会議でもご報告致しましたが、子育て支援活動助成事業を今年度行っております。夏に1回目の審査を終えたところですが、現在2回目の募集を行っているところでございます。12月25日まで募集をしておりますので、是非お近くでそういった活動をされている方がいらっしゃいましたら、お伝えいただければと思います。ただ今回は、助成できる額が前回の予算の残額となりますので、315,000円となっております。また、前回との相違点といたしまして、前回の審査は書類審査のみでしたが、書類審査 فقطで、その活動の詳細の部分までわかりかねる部分も多々あったところでございます。従いまして、今回の2回目の募集につきましては、審査の項目の一つとして、プレゼンテーションを行うことを設けさせていただきました。そこが前回と違うところをご承知おきいただきたいと思います。12月25日までですので、ひとつよろしくお願いいたします。

	いたします。以上です。
会長	ありがとうございます。助成事業について、もう一度募集をしますということで、関係のある方はお声掛けくださいという内容だったかと思います。 この子ども・子育て会議ですが、本来であればもっとしっかりと皆さんと議論を交わしながら進めていきたいのですが、今年度に関してはこのような状況ですので、どちらかという報告主体な会議とさせていただきますのでご了承いただきたいなと思います。

4 次回開催予定

会長	次回の開催予定を事務局からお願いします。
事務局	(次回の日程について報告)
会長	それでは、これをもちまして、令和2年度第3回「墨田区子ども・子育て会議」を閉会いたします。

閉会

以上